

第5期高知市地域アクションプランの 進捗状況確認資料

高 知 市 地 域 本 部
令 和 7 年 1 月 22 日（水）

高知市地域アクションプランの進捗状況確認資料

R7. 1. 22

高知市地域本部

1 地域アクションプランの令和6年度第3四半期の実施状況及び令和7年度の展開(総括)

(1) 総評

令和6年度は、全14項目のアクションプランごとに関係機関の担当者等で構成する実行支援チームを編成し、市や事業者と事業推進に向けた協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めている。

農業分野

日本一のグロリオサの産地である三里地区では、各事業主体が連携し、産地ビジョンや安定出荷に向けた年間作付計画の策定等に着手し、さらなる輸出振興に向けて取り組んでいる。また、各種イベントにおけるPR活動により、グロリオサの認知度は向上しており、令和7年度も引き続き、PR活動、花き展覧会等への出展、秀品率の向上に向けた勉強会の実施等に取り組む。

土佐山地域では、基幹品目であるユズの生産基盤の構築や安定生産に向けて、スマート農業技術の活用や加工調整施設の搾汁ラインの改修等に取り組み、安定生産体制の構築につなげるとともに、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心に有機農業の推進や地産外商の取り組みに力を入れた結果、新規取引先の獲得等につながっている。今後も、安定生産のための現地検討会や生産基盤の維持に向けた担い手対策の検討等に取り組み、農産物のさらなる生産拡大を図る。

また、地域の生産と消費の交流拠点である直販所の活性化により、山の恵みを所得につなげる取り組みを進めており、農産物の栽培推進や直販所間での取引等による出荷品目の増加にも取り組んでいる。令和7年度には、組合員確保に向けた新たな試みや財務分析等に基づいた経営体制の見直しにも取り組む予定であり、直販所のさらなる活性化を目指していく。

林業分野

高知県産イタドリについては、鏡地区の苗を県内各地の栽培産地に供給するとともに、量販店やアンテナショップで加工品の販売を行っている。また、将来に渡りイタドリ事業を継続していくために、生産者と加工者で積極的に情報交換を行い、適正な取引価格や販売体制等の見直しを進めている。引き続き、高知県食品工業団地事業協同組合や生産者、加工者等で設立した「高知県イタドリ生産普及販売促進協議会」において、組織体制の強化に取り組み、生産・販売体制の充実に力を入れていく。

商工業分野

春野地域において、生産農家と加工業者が連携し、ベルガモットをはじめとした農産物加工品の開発・販路の拡大に取り組んでいる。気候変動への対応や産地化を形成するため、新たに県内全域でベルガモットの連携農家の掘り起こしを行い、ほ場の分散と生産面積の拡大を目指している。今後は、将来的な増産に対応するために、新規取引先の獲得、設備導入の検討、取

引先に応じた衛生管理の見直し等による生産・販売体制の構築に取り組み、さらなる販路開拓に力を入れていく。

竹資源の活用については、それぞれの実施主体が県産竹材を活用した素材生産の拡大や竹林整備に取り組んでいる。今後も関係機関と連携し、森林保全と環境配慮型産業の推進を図っていく。

また、高知市中心市街地活性化基本計画に位置づけられたハード・ソフト両面の取り組みを、高知市をはじめとする官民の各事業主体が具体的に推進することにより、県都中心部での都市機能の増進と経済の活性化を図っている。併せて、地元利用者はもとより観光客等にとっても魅力のある街路市の創出に向け、高知市街路市活性化構想に掲げた各種取り組みを推進するとともに、構想の見直しを行い、地域の活性化につなげている。今後は、新たな計画や構想に基づき、中心市街地のさらなる活性化を目指していく。

観光分野

高知県の周遊拠点都市としての役割を果たすため、歴史や文化等、高知市が誇る数多くの観光資源の磨き上げや掘り起こし、県内市町村との連携による新たな観光資源や周遊ルートの開発をはじめとする広域観光の推進に取り組んでおり、観光ナビ・ツーリストセンターの利用者数が順調に推移している。

また、浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組みにより、県内外の観光客の誘客が図られるとともに、高知市を代表する観光地である桂浜とその周辺地域一体においては、渋滞対策の実施及び新たなイベントやナイトタイムエコノミーの取り組みに力を入れた結果、安定的な集客につながっている。

よさこい祭りについては、発祥の地としてのブランド力の確立を図るため、高知よさこい情報交流館における企画展をはじめ、県外イベントへ参加する等、PRの強化に取り組み、観光客の誘致につながっている。

令和7年度は、各取り組みにおいて、デジタルを活用したPRや賑わい創出に向けたイベントの実施、連続テレビ小説「あんぱん」を生かしたプロモーション等に取り組み、さらなる広域観光の推進を図っていく。

分野	商工業
実施主体	◎(有)スタジオ・オカムラ、連携農家
APへの位置付け	H22.4月

第5期(R6~R9)						評価※ (達成率)
指標	出発点 (R4)	R6実績 (4月~11月)	R6目標	R7目標	R9目標	
販売額	8,707万円	6,650万円	9,000万円	1億円	1.2億円	S (110.8%)

※R6(目標)に対するR6(実績)の達成状況 S:110%以上 A:100%以上110%未満 B:85%以上100%未満 C:70%以上85%未満 D:70%未満

事業概要

春野地域のベルガモットをはじめとした農産物を活用した新たな加工品を開発するとともに、当該加工品の新たな販路を拡大し、農家所得の向上及び雇用の創出による地域の振興を図る。

主なスケジュール	R6	R7	R8	R9
農産物の生産体制の整備	連携農家の掘り起こし 設備導入の検討 設備導入			
加工品の販路拡大	各種商談会への参加			
新たなチャネル商品開発	品質等の研究、新商品の開発		新商品の販売	

現状と課題

【現状】

- 生産拡大・リスクヘッジのための県内全域でのベルガモットの生産者(連携農家)の掘り起こし
- 食品加工高度化支援事業費補助金を活用した充填機の導入
- 増産に対応した設備機器(搾汁機・オイル抽出装置等)の導入に向けた検討
- 大手紅茶メーカーや世界展開のチェーン店との取引開始
- 県内外での各種セミナーや商談会への参加
- 食品転用に向けたベルガモットエッセンシャルオイルの品質分析

【課題】

- 輸出に向けたHACCP等の見直し
- ベルガモット果汁やエッセンシャルオイルの生産性向上に向けた設備機器等の速やかな導入
- 増産を見据えた生産・販売体制の構築
- 増産後のベルガモット果汁の販路のさらなる開拓
- ベルガモットエッセンシャルオイルを活用した新商品の開発

R7年度(第5期ver.2)における取り組みの内容

(1)農産物の生産体制の整備

- ベルガモット栽培技術の指導及び周知
- 新たな連携農家による香料原料の生産面積拡大(1ha)
- 増産に対応するための設備機器(搾汁機・オイル抽出装置等)の導入等に向けた検討
- 増産を見据えた人員確保の検討

(2)加工品の販路拡大

- 輸出に向けたHACCPの見直しの検討(産振アドバイザー制度活用予定)
- 各種セミナーや商談会等への参加
- 香料メーカーへの販路開拓
- OEM先との連携強化及び新規開拓
- 外食産業(ホテル含む)への飲料製品の販売強化

(3)新たなチャネルに向けた商品開発

- ベルガモットエッセンシャルオイルの品質及び安全性の分析
- ベルガモットエッセンシャルオイル分析結果を踏まえた新商品の検討(産振アドバイザー制度活用予定)
- 新素材の栽培、商品開発



分野	商工業
実施主体	◎高知市、◎出店者3組合ほか関係団体等
APへの位置付け	H28.4月

第5期(R6～R9)						評価※ (達成率)
指標	出発点 (R4)	R6実績 (4月～11月)	R6目標	R7目標	R9目標	
新規出店者数	14件	13件	17件	18件	20件	S (114.7%)
れんけい小間売上高	—	760.1万円	800万円	810万円	当初：800万円※予定 変更後：830万円	S (142.5%)

※R6(目標)に対するR6(実績)の達成状況 **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

事業概要

「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創出し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。

主な スケジュール	R6	R7	R8	R9
街路市活性化 のための事業 推進	街路市活性化構想に基づいた事業の推進			
れんけいこうち 日曜市出店 事業の推進	来客者増加に向けた事業の推進			

現状と課題

- 【現状】
- ・街路市活性化構想に基づいた全41事業の継続実施
 - ・次期構想の策定に向けた各種調査・アンケートの実施
 - ・街路市運営協議会、街路市活性化推進委員会、街路市利用者との座談会の開催
 - ・来客数増加に向けた規制緩和(酒類販売)の検討
 - ・出店者の発案によるイベントの実施支援
 - ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品のPRの実施(れんけいこうち日曜市出店事業)
 - ・Facebook、Instagramによる曜日ごとの情報発信

- 【課題】
- ・既存出店者の廃業数が新規出店者数を上回っていることによる出店者数の減少
 - ・街路市以外の販売チャネルの増加による利用者数の減少
 - ・インバウンド観光客の受入体制の構築

R7年度 (第5期ver.2)における取り組みの内容

- (1)街路市活性化構想の推進
- 次期街路市活性化構想(R7～R11)に基づく取り組み実施
 - ・出店基準緩和の検討
 - 新**・地域おこし協力隊の任用によるHP・SNS(Facebook、Instagram)の情報発信の強化(産振アドバイザー制度活用予定)
 - 新**・チャレンジ出店の実施
 - 新**・街路市の食材を使った料理教室の開催
 - 新**・キャッシュレス決済の普及促進
- (2)街路市活性化構想の見直し・フォローアップ
- ・街路市運営協議会における事業の実施に向けた協議
 - ・街路市活性化推進委員会における事業の進捗管理及び事業に関する意見聴取
- (3)れんけいこうち日曜市出店事業の推進
- ・来客者増加に向けた「れんけいこうち日曜市出店事業」の持続・発展
 - ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品のPRの実施
 - ・出店基準の緩和(酒類販売の解禁)



(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
農業	1	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎JA高知市 ・◎JA高知市三里園芸部花卉部会 需要の高いサザンウインドの生産拡大を進め、輸出を含めた実需者ニーズを満たす販売対策を強化し、日本一のグロリオサ産地の活性化と農家所得の向上を図る。	販売額 園芸年度： 前年9月～ 8月	5.6億円 (R5)	5.7億円	6.0億円	1 基本技術の徹底 ・秀品率の向上に向けた勉強会の開催 2 流通・販売対策(輸出) ・産地ビジョンの作成 ・新品種評価及び市場ニーズ調査の実施 ・市場との定期的な販売会議の実施 ・花き展示会や博覧会への出展	1 基本技術の徹底 ・アザミウマ類の赤色LED実証試験 →実証農家及び部会への結果報告(6月、9月) 個別巡回指導：1回 ・研修会(勉強会)の開催 →土壌分析結果研修会(9月)、現地検討会・目慣らし会(11月) ・病害虫防除技術の普及(4月～12月) →個別巡回：24回 2 流通・販売対策(輸出) ・産地ビジョンの策定に向けた検討(6月、9月、12月) →役員会：3回、産地ビジョンの策定に係るアンケート調査の開始 ・ピンク系統の県育成品種栽培者及び市場への聞き取り調査(5月～8月) →個別巡回指導：2回、市場視察：1回 ・三里地区版黄色系統(ルテア)の栽培暦及び年間作付計画作成に向けた検討(6月) →現地検討会：1回、個別巡回：2回 ・スーパーよさこい2024でのPR活動(8月)	－ (2月以降に集計・公表)	－	(成果) ・赤色LEDによるアザミウマ類への防除効果が認められた。 ・産地ビジョンの策定に向けて現状及び課題の整理を実施した。 ・市場ニーズ調査の結果、ピンク系統について、市場からの出荷を要望する意見があり、需要があることを把握した。 ・黄色系統(ルテア)の安定出荷に向け、栽培暦及び年間作付計画の作成に着手した。 ・PRを行った結果、グロリオサの認知度の向上につながった。 (課題) ・秀品率の向上に向けた高温障害対策及び害虫対策の実施 ・計画的な出荷に向けた生産体制の整備 ・部会体制の構築 ・輸出向け有望系統の生育特性の把握 (今後の方向性) ・環境データ測定による栽培管理技術の向上 ・赤色LED導入に向けた検討及び総合的な病害虫防除技術の普及 ・計画的な出荷に向けた作付け計画の聞き取り調査 ・産地ビジョンの策定に向けた検討会及び聞き取り調査の実施による部会体制の構築 ・輸出向け有望系統の生育調査等の実施及び有利販売に向けた市場との協議	1 基本技術の徹底 ・秀品率の向上に向けた勉強会の開催 ・栽培管理支援 2 流通・販売対策(輸出) ・産地ビジョン策定と達成に向けた取組支援 ・新品種評価及び市場ニーズ調査の実施 ・花き展示会や博覧会への出展 ・市場との定期的な販売会議の実施
農業	2	土佐山地域を核としたユズ産地の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市土佐山柚子生産組合 ・◎JA高知市 ・◎土佐山ファクトリー(協) ・◎旭フレッシュ(株) ・◎高知市 中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大と高品質化、スマート農業技術の導入、後継者の育成等により経営の安定を図る。	ユズ販売額	1.5億円 (R4)	1.6億円	1.9億円	1 安定生産 ・生産力強化に向けたスマート農業技術の活用 ・現地検討会の実施 ・土佐山柚子加工調整施設の老朽化への対応策の検討 2 生産基盤の維持 ・担い手対策の検討及び実行	1 安定生産 ・スマート農業技術の活用支援 →ドローン防除研修会：2回、ドローン施肥試験：1回、ドローン施肥試験結果共有：1回 ・研修会(現地検討会等)の実施 →研修会：8回 ・土佐山柚子加工調整施設の更新に向けた協議 →役員会：3回、支部長会：2回、総会：1回 2 生産基盤の維持 ・貸借可能なほ場を把握するための現地調査：12園地 ・新規就農者へのマッチング	－ (2月以降に集計・公表)	－	(成果) ・関係機関における協議の結果、安定生産のため、土佐山柚子加工調整施設の搾汁ラインの改修を実施した。 ・結実量の少ない裏年ながら、加工用ユズの出荷量(671t)が確保できた。 ・ドローン活用延べ面積：400a(R6年度) ・新規就農者に園地を流動化する仕組みづくりに取り組んだ。 (課題) ・省力化に向けたドローンの活用 ・表年が見込まれる次年度に向けた技術指導 ・園地の流動化に向けた具体的な取り決め等が未定 (今後の方向性) ・ドローン活用の拡大(ドローン施肥)に向けた検証 ・栽培技術力向上に向けたせん定講習会、青果ユズ勉強会の実施 ・新規就農希望者等担い手へのマッチングや技術的支援の実施	1 安定生産 ・生産力強化に向けたスマート農業技術の活用 ・現地検討会等研修会の実施 2 生産基盤の維持 ・担い手対策の検討及び実行 ・流動化可能な園地調査の実施

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】							【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
農 業	3	有機農産物による土佐山地域の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎(一財)夢産地とさやま開発公社 ・連携農家 土佐山を今後100年にわたり豊かに継続させる「土佐山百年構想」に基づき、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心として、有機野菜等の生産と販売及び加工品の開発・販売の取り組みを通じて農家所得の向上と地域の振興を図る。	販売額	2.03億円 (R4)	2.13億円	2.45億円	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・連携農家への有機農業の技術指導 ・優良母樹からのユズ苗木の栽培及び土佐山柚子生産組合への供給 ・新規作物の試験栽培の実施 ・公社ほ場及び遊休地、耕作放棄地の活用 ・ショウガ輪作によるほ場の効率活用 ・庭先農家への営農指導の実施 2 農家の所得向上及び公社の経営体制の安定化 ・経営安定化に向けた事業計画及び雇用計画の実行 ・経営アドバイザーによる実務支援 ・外部専門家による経営評価及びアドバイスの実施 ・課題解決に向けた新規プロジェクト組成及び実施 3 加工施設の高度化による販路拡大 ・HACCPに沿った衛生管理への対応 ・新商品の開発及び製造 ・各種展示商談会やイベントへの出展 ・EC販売の促進	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・連携農家への有機農業技術指導：1回 ・土佐山柚子生産組合へのユズ苗木供給 →1年苗2,800本、2年苗500本育成中 ・新規作物(サツマイモ)の試験栽培の開始(6月～) ・遊休地及び耕作放棄地を活用した土づくりの実施 ・ショウガ輪作ほ場を活用した万次郎カボチャの作付拡大 ・庭先農家に対する春季栽培品目についての営農指導：1回 2 農家の所得向上及び公社の経営体制の安定化 ・事業部門別収支計画及び改善計画の策定 ・責任者会議における運営指導(4月～) ・働き方改革の推進に向けた就業規則等の見直し ・赤字部門の収支改善に向けた商品や体制の見直し(6月～) ・外部検討委員会における経営方針及び収支改善計画の協議(6/28) 3 加工施設の高度化による販路拡大 ・「食品衛生監視票」の取得に向けた衛生管理の継続 ・既存商品の見直し →「ジンジャーエールの素」(辛口・マイルド)2品発売 ・新商品のテスト販売 →土佐ジローを活用した2商品(カステラ、卵焼き) ・オーベルジュ土佐山向けミネラルウォーター製造に向けた準備 ・新たなOEM商品試作 ・商談会及びイベントへの出展 →商談会：7回、イベント：7回 ・EC販売の促進に向けた試行	1.50億円 (R6.4月～10月) ・R6到達目標達成率：120.7% ・対前年同期比：115.6.％	S	(成果) ・有機農産物のニーズ拡大に伴い、売上高が増加している。 ・赤字部門(ストア部門等)への対応策がほぼ計画に沿って実行でき ており、売上高の増加や赤字解消につながりつつある。 売上高(ストア部門(R6.4月～10月))： 20,208千円(対前年同期比：111.9%) ・就業規則(9月施行)等の改訂等、働き方改革の視点を取り入れた 組織改革を行った。 ・新商品開発や商談会等への参加により、取引先が増加しており、 前年同期と比較して売上高も増加傾向にある。 新規取引先の増加：19件、新商品開発：4件 (課題) ・担い手の高齢化及び後継者不在 ・採算の取れていない部門の収益安定化 ・状況に応じた組織改革 ・販路拡大 (今後の方向性) ・地域の担い手及び後継者確保に向けた対応策の検討 ・目標達成に向けた事業計画の実行 ・組織改革のための継続的な対応検討 ・優良顧客との安定取引	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・ほ場及び人材の確保 ・担い手確保に向けた地域内連携の推進 2 農家の所得向上及び公社の経営体制の安定化 ・収益安定化に向けた事業継続 ・人事考課制度の導入 3 加工施設の高度化による販路拡大 ・取引先への定期的な情報提供 ・情報発信の拠点づくり ・商談会やイベントへの出展

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
農業	4	直販店を核とした鏡地域の活性化 (高知市) 【実施主体】 ・◎鏡村直販店組合「鏡むらの店」 鏡村直販店組合「鏡むらの店」(万々店、リオ店)は組合員により主に鏡地域の野菜や果物が出荷されている。同組合と関係機関が連携して栽培推進品目を選定し、積極的な栽培支援による生産力向上や、販売強化の支援を進め、売上高及び組合員の所得向上を目指す。	売上高 暦年	1.29億円 (R4)	1.25億円	1.35億円	1 推進品目の栽培推進 ・推進品目の周知 2 販売・経営対策 ・地域外からの商品確保の検討及び実践 ・雇用及び経営体制の強化 ・Instagramを活用した広報活動 ・施設・設備の高度化に向けた検討	1 推進品目の栽培推進 ・販売実績の共有、今後の取り組みについての協議及び推進品目についての見直しを検討 →チーム会：4回 ・山菜や秋まき・秋植え作物に関する栽培講習会の実施：1回 2 販売・経営対策 ・直販所交流商談会への参加：1回 ・POSデータ分析による販売状況の共有 →チーム会：4回 ・雇用及び経営体制(リオ店の継続)についての検討 →理事会：2回、チーム会：1回 ・Instagramを活用した毎日の情報発信(通年) ・財務アドバイザーによる分析：1回	0.97億円 (R6.1月～10月) ・R6到達目標達成率：93.1% ・対前年同期比：96.1%	B	(成果) ・推進品目の見直しを実施し、地域ですぐに採取できる山菜の販売を生産者に推奨した。 ・栽培講習会の開催(山菜や秋まき・秋植え作物の品種紹介)により、生産者の関心が高まった。 ・財務諸表の分析により、良好な経営状況が確認できた。 (課題) ・農産物の出荷品目・出荷量の減少 ・既存出荷者の高齢化・減少 ・新規組合員(出荷者)の確保 ・リオ店の継続可否の判断 (今後の方向性) ・生産拡大可能な出荷者の状況確認 ・新規組合員(出荷者)の確保に向けた検討 ・定期的な財務諸表と販売状況の分析 ・財務分析等に基づいたリオ店の検討(理事会・総会)	1 推進品目の栽培推進 ・気候変動や生産者の状況に応じた品目の推進 ・栽培意欲の向上に向けた生産者への出荷状況のフィードバック 2 販売・経営対策 ・出荷品目・出荷量の増加に向けたチャレンジ出荷枠の創設 ・新規組合員の確保に向けた組合員要件緩和の検討 ・他直販店等の地域外からの商品確保の検討及び実践 ・財務分析等に基づいた経営体制の見直し ・十分な商品を確保したイベントの実施
農業	5	加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市) 【実施主体】 ・◎JA高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」) ・◎加工組織なるクラブ JA高知市の直販所「真心ふぁーむらぶ」において、地域の農産物に加え、加工組織「なるクラブ」が開発・製造した商品を販売することで、地産地消を推進する。 また、商品開発や地域住民の農業への関心を高める取り組みにより、地域農産物の消費拡大と田舎寿司などの伝統食の伝承を図る。	売上高 暦年	9,064万円 (R4)	9,300万円	1億円	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善 ・会員要件の拡大による商品ラインナップの充実 2 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 ・消費者ニーズを踏まえた高付加価値商品の開発 ・売上げ実績に基づく製造計画及び人員体制の見直し ・既存商品の効率化に向けた見直し及び検討	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善の検討 ・会員要件の緩和による男性組合員の参入 →新規男性組合員：1名 ・R9目標の上方修正に向けた検討 2 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 ・消費者ニーズを踏まえた高付加価値商品の検討 ・出荷実績に基づく製造計画の検討及び商品価格の見直しに向けた協議 →チーム会：4回 ・原価計算検討会の開催：1回 ・直販所交流商談会への参加：1回	7,784.7万円 (R6.1月～10月) ・R6到達目標達成率：100.4% ・対前年同期比：102.8%	A	(成果) ・直販所への男性組合員(1名)の出品により、出荷品目が増加した。 ・原価計算に基づいた販売価格の改定(10月～)により、収支改善に取り組んだ。 (課題) ・加工品(なるクラブ)の利益率の向上 ・農産物の出荷品目・出荷量の減少 (今後の方向性) ・消費者ニーズを踏まえた製造計画の策定 ・財務諸表等の分析による経営状況の確認 ・出荷品目・出荷量増加に向けた栽培講習会の実施についての検討	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善の検討 ・会員要件の拡大や直販所取引等による商品ラインナップの充実 ・栽培講習会等による農産物の生産振興 2 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 ・消費者ニーズを踏まえた既存商品の見直し ・財務分析や売上げ実績に基づく製造計画及び人員体制の見直し(産振アドバイザー制度活用予定)

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準		
S	数値目標の達成率	110%以上
A	数値目標の達成率	100%以上110%未満
B	数値目標の達成率	85%以上100%未満
C	数値目標の達成率	70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率	70%未満
－	達成度の判断が困難なもの	

【P(Plan)】							【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
林業	6	イタダリの増産による中山間地域の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知県イタドリ生産普及販売促進協議会 ・連携農家 出荷量において全国一であり、一般的に県内で食されているイタドリを販売拡大していくため、栽培イタダリの県内産地を拡大するとともに、新商品の開発等を行うことにより高知県産イタダリのブランドを確立し、中山間地域における所得の向上を図る。	加工品の販売額	254万円 (R4)	373万円	500万円	1 イタダリの安定生産 ・耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大 ・皮剥ぎ機の導入試験 2 組織体制の強化 ・生産販売計画の策定 ・協議会会員の増加 3 販路拡大 ・商品販売方法等の検討 ・特許技術を活用したPR ・展示会等への出展	1 イタダリの安定生産 ・平場での生産に向けた「鏡1号」の苗の販売→3件(R6.1月～3月) ・皮剥ぎ機の導入試験の実施(4月) ・イタドリ皮の酵素処理試験の検討(高知県立大学) 2 組織体制の強化 ・生産販売計画の策定→総会(R6.3月)：1回 ・協議会会員の増加に向けた取り組みの検討 ・生産者・加工者等の情報交換会の実施(11/22、12/11) 3 販路拡大 ・量販店やアンテナショップでの加工品の販売 ・特許技術の申請 ・イタドリ茶の展示会等への出展：2回	440.6万円 (R6.4月～11月) ・R6到達目標達成率：177.2% ・対前年同期比：110.1%	S	(成果) ・皮剥ぎ機の試験データの収集により改良点を明確にした。 (課題) ・生イタダリ生産量の確保 ・皮剥ぎの人手不足 (今後の方向性) ・平場等でのさらなる生産拡大 ・皮剥ぎ機の実用化に向けた改良の検討 ・イタドリ皮の酵素処理試験の実施 ・協議会の役員会・総会における塩漬け冷凍イタダリの買取価格の検討	1 イタダリの安定生産 ・苗の販売等による耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大 ・皮剥ぎ機導入試験の拡大の検討 2 組織体制の強化 ・生産者・加工者等の情報交換会の開催 ・生産・販売体制の見直し 3 販路拡大 ・量販店やアンテナショップでの加工品の販売 ・展示会等への出展
商工業	7	農産物の6次産業化による春野地域の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎(有)スタジオ・オカムラ ・連携農家 春野地域のベルガモットをはじめとした農産物を活用した新たな加工品を開発するとともに、当該加工品の新たな販路を拡大し、農家所得の向上及び雇用の創出による地域の振興を図る。	販売額	8,707万円 (R4)	9,000万円	1.2億円	1 農産物の生産体制の整備 ・ベルガモット栽培技術の周知 ・連携農家の掘り起こしによる香料原料の生産拡大 ・増産に向けた設備の導入 2 加工品の販路拡大 ・各種商談会への参加 ・香料メーカーへの販路開拓 ・OEM先との連携強化及び新規開拓 ・EC販売等の営業強化 3 新たなチャネルに向けた商品開発 ・品質及び安全性の分析 ・分析結果を踏まえた新商品の検討	1 農産物の生産体制の整備 ・既存生産者によるベルガモット栽培技術の指導 ・生産拡大・リスクヘッジのための県内全域でのベルガモットの生産者(連携農家)の掘り起こし→ベルガモットの新規生産者(連携農家)：6戸 ベルガモット生産面積：40a(R5年度末時点)→50a(R6.9月時点) ・食品加工高度化支援事業費補助金(地産地消・外商課)を活用した充填機の発注 ・増産に対応するための設備機器(搾汁機・オイル抽出装置等)の導入に向けた検討 2 加工品の販路拡大 ・県内外での各種商談会への参加：9回 ・輸出に向けたセミナーへの参加：3回 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの香料メーカーへの提供 ・大手紅茶メーカー、世界展開のコーヒージャップ、チョコレートメーカーとの新規取引開始 3 新たなチャネルに向けた商品開発 ・食品転用に向けたベルガモットエッセンシャルオイルの品質分析 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの食品添加物等としての活用に向けた香料メーカーへの新商品の開発委託	6,650万円 (R6.4月～11月) ・R6到達目標達成率：110.8% ・対前年同期比：110.3%	S	(成果) ・取引先のニーズに対応するため、ベルガモットエッセンシャルオイル目標生産量を設定し、今後の生産体制の見直しを行った。 ・世界展開のコーヒージャップにおいて、ベルガモット製品が期間限定ドリンクメニューに採用された。(R6.11月～R7.2月) ・世界展開のチョコレートメーカーが運営するカフェにおいて、ベルガモット製品が期間限定メニューに採用された。(R6.11月～R7.1月) ・老舗日本料理店において、ドリンクメニューとしてスパークリング飲料が採用された。(R6.11月～) (課題) ・輸出に向けたHACCP等の見直し ・ベルガモット果汁やエッセンシャルオイルの生産性向上に向けた設備機器等の速やかな導入 ・増産を見据えた生産・販売体制の構築 ・増産後のベルガモット果汁の販路のさらなる開拓 ・ベルガモットエッセンシャルオイルを活用した新商品の開発 (今後の方向性) ・輸出に向けたHACCPの見直しの検討 ・充填機の導入(R7.1月～2月) ・設備機器導入等に向けた資金調達 ・増産を見据えた人員確保の検討 ・輸出に向けた各種セミナーや商談会等への参加 ・増産を見据えたベルガモット果汁の販売チャネルの確立 ・取引先のニーズに合わせたベルガモットエッセンシャルオイルの品質分析	1 農産物の生産体制の整備 ・ベルガモット栽培技術の指導及び周知 ・新たな連携農家による香料原料の生産面積拡大(1ha) ・増産に対応するための設備機器(搾汁機・オイル抽出装置等)の導入に向けた検討 ・増産を見据えた人員確保の検討 2 加工品の販路拡大 ・輸出に向けたHACCPの見直しの検討(産振アドバイザー制度活用予定) ・各種セミナーや商談会等への参加 ・香料メーカーへの販路開拓 ・OEM先との連携強化及び新規開拓 ・外食産業(ホテル含む)への飲料製品の販売強化 3 新たなチャネルに向けた商品開発 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの品質及び安全性の分析 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの分析結果を踏まえた新商品の検討(産振アドバイザー制度活用予定) ・新素材の栽培、商品開発

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

		【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商 工 業	8	竹資源活用による環境配慮型産業の推進 (高知市) 【実施主体】 ・◎(株)コスモ工房 ・◎(同)高知竹材センター 県産竹材を活用した素材生産を拡大することにより、森林保全と環境配慮型産業の推進を図る。	売上高 (コスモ工房) 暦年	6,767万円 (R4)	6,800万円	8,000万円	1 県産竹材を活用した素材の安定生産 ・竹集成材の加工技術の継承 ・従業員の技術力向上 ・親会社と共同での商談会への出展 ・既存顧客等への営業活動 ・HPでの情報発信	1 県産竹材を活用した素材の安定生産 ・大阪・関西万博のバピリオンへの集成材の供給 →3,300～3,500枚 ・既存顧客からの注文の対応再開(R6.9月以降)	7,091.1万円 (R6.1月～11月) ・R6到達目標達成率：113.8% ・対前年同期比：105.9%	S	(成果) ・大阪・関西万博に向けた集成材やの受注等により、売上高の増加が見込まれる。 ・集成材の供給について、県外から新たに2件の注文を獲得した。 (課題) ・安定した良質な原竹の確保 ・原竹の持ち込みによる受注の拡大 (今後の方向性) ・原竹の確保の仕組みづくりの検討 ・原竹の持ち込みによる集成材のOEM生産	1 県産竹材を活用した素材の安定生産 ・原竹の確保に向けた納入業者との調整 ・原竹の着実な納入による集成材の円滑な生産
			売上高 (高知竹材センター) 2月～1月	419万円 (R4)	664万円	844万円	2 県産竹材の供給体制構築及び販路開拓 ・竹林整備による需要の高い孟宗竹の増産 ・原竹や住宅用フェンス等既存商品及び竹粉の販路開拓 ・HP、Facebookでの情報発信	2 県産竹材の供給体制構築及び販路開拓 ・五台山東孕地区の竹林整備 ・四方竹の葉を活用した新たな加工品の検討	468.5万円 (R6.2月～11月) ・R6到達目標達成率：84.7% ・対前年同期比：－%		C	(成果) ・目標整備面積3.6ha(R7まで)に向けた放置・侵入竹等の間伐を行った。 ・竹繊維を原料とする新材料への活用に向けて、原竹の納入試験を実施した。 (課題) ・原竹の販路開拓 ・加工品の開発の検討 (今後の方向性) ・竹林整備のさらなる拡大 ・原竹の販売先の掘り起こし及び納入に向けた調整
商 工 業	9	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・高知市商店街振興組合連合会ほか関係団体 高知市中心市街地活性化基本計画に基づき、多様な主体の参画のもとに、中核市として賑わいと活力ある中心市街地の形成を目指し、都市機能の増進と経済活力の向上を図る。	空き店舗率	17.0% (R4)	15.1%	14.4%	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業 ・シェアサイクル事業 ・商店街イベント事業	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業の実施 (高知市空き店舗活用創業支援事業) →支援実績6件(家賃補助4件、仲介手数料補助2件) (11月末時点) ・シェアサイクル事業の推進 →R6.4月に新たに「西鉄イン高知はりまや橋ポート」を開設し、サイクルポート6か所で稼働していたが、委託先との契約解除によりサービス休止中(10月～) ・商店街イベント事業として「おびさんマルシェ」や「土曜夜市」を開催 →中心商店街への来街者数の増加に寄与	－ (R7.1月末に集計・公表予定)	－	(成果) ・第三期計画(R5.4月～R10.3月)登載58事業のうち「事業完了」が3事業、「事業実施中」が55事業となっている(進捗率100%)。 (課題) ・新型コロナウイルス感染症の影響等による経済規模の縮小に伴う営業店舗数の減少及び新規出店数の伸び悩み ・シェアサイクル事業における事業内容の見直し ・中心市街地の回遊性の維持及び向上 ・来街者数の増加及び滞在時間延長 (今後の方向性) ・新規事業の登載及び既存事業の見直しによる計画変更の実施(R7.2月変更認定予定) ・事業再開に向けたシェアサイクル事業の検討 ・関係機関の協力のもと、AIカメラ人流計測システムの活用による中心市街地のさらなる活性化に向けたまちづくりの推進 ・商店街等でのイベントの実施 ・インバウンド観光客の受入体制強化	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業(H25～R9) ・横堀公園整備事業(H25～R9) ・商店街等人流分析事業(R6～R9) ・商店街イベント事業(H25～R9) ・外国人観光客の受入おもてなし事業(H27～R9) ・中心市街地空き店舗ツアー事業(R5～R9) (産振補助金(ステップアップ事業)活用予定) ・タウンモビリティ事業(H25～R9) (中心市街地バリアフリー情報発信事業において産振補助金(ステップアップ事業)活用予定)
			歩行者通行量(17地点・冬季・平日休日2日の合計)	105,613人 (R4)	116,098人	128,004人	2 高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ及び計画の見直し ・内閣府への定期フォローアップ報告 ・事業の進捗等による計画変更 ・高知市中心市街地活性化協議会の開催	2 高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ及び計画の見直し ・内閣府への定期フォローアップ報告の実施 →進捗状況及び今後の取り組みについて確認 ・新規事業の登載等に向けた計画変更の申請 →計画のブラッシュアップ ・第17回高知市中心市街地活性化協議会の実施(5/27) →今後の方向性について確認し、協議会からの意見を定期フォローアップに反映	－ (R7.2月中旬頃に集計・公表予定)		2 高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ及び計画の見直し ・内閣府への定期フォローアップ報告(毎年5月) ・事業の進捗等による計画変更 ・定期フォローアップ報告及び計画変更に係る意見提出	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】							【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商 工 業	10	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・◎出店者3組合ほか関係団体等 「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創出し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。	新規 出店者数	14件 (R4)	17件	20件	1 街路市活性化構想の推進 ・街路市活性化構想に基づいた事業の実施 ・出店基準の緩和の検討 ・Facebook、Instagramによる情報発信 ・高知市との連携による街路市の活性化 2 街路市活性化構想の見直し・フォローアップ ・次期構想(R7～)の調査・策定 ・街路市活性化推進委員会での検討及びフォローアップ ・次期構想策定及びフォローアップへの参画	1 街路市活性化構想の推進 ・街路市活性化構想に基づいた全41事業(R5年度までに着手済み)の継続実施(R6年度に新規着手予定の事業なし) ・Facebook、Instagramによる曜市ごとの最新情報の発信(通年) ・街路市運営協議会の開催：1回 →出店者3団体との情報共有 ・街路市利用者との座談会開催：1回 2 街路市活性化構想の見直し・フォローアップ ・次期構想の策定に向けた各種調査・アンケートの実施 →市民Webアンケート、日曜市利用者アンケート、日曜市通行量調査、出店者アンケート、観光業者ヒアリング ・街路市活性化推進委員会の開催(7月、11月) →R5年度の取り組みについてのフォローアップ →現構想における全41事業の総括 →次期構想の策定に向けての検討開始(全4回開催予定)	13件 (R6.4月～11月) ・R6到達目標達成率：114.7% ・対前年同期比：162.5%	S	(成果) ・出店者の希望を受け、れんけい小間数が増加した。 9小間→10小間(仁淀川町単独小間) ・れんけいこうちブースに限定した酒類販売の規制緩和について検討した結果、R7年度からの酒類販売(試飲を含む)の解禁を決定した。 ・これまで取り組んできた規制緩和(手作り食品製造者、手作り工芸品等、グループでの出店可)により、新規出店者を獲得できている。 (課題) ・既存出店者の廃業数が新規出店者数を上回っていることによる出店者数の減少 ・街路市以外の販売チャネルの増加による利用者数の減少 ・インバウンド観光客の受入体制の構築 (今後の方向性) ・出店者数の増加に向けた出店基準緩和(街路市の伝統・文化・雰囲気 に要配慮)の検討 ・利用者の増加に向けた情報発信のさらなる強化 ・インバウンド観光客の受け入れに向けた取り組みの検討 ・次期街路市活性化構想の策定(R6年度中) ・次期街路市活性化構想に基づいた事業の実施による街路市のさらなる活性化(R7年度以降)	1 街路市活性化構想の推進 次期構想(R7～R11)に基づく取り組み実施 ・出店基準緩和の検討 ・地域おこし協力隊の任用によるHP・SNSの情報発信の強化(産振アドバイザー制度活用予定) ・チャレンジ出店の実施 ・街路市の食材を使った料理教室の開催 ・キャッシュレス決済の普及促進 2 街路市活性化構想の見直し・フォローアップ ・街路市運営協議会における事業の実施に向けた協議 ・街路市活性化推進委員会における事業の進捗管理及び事業に関する意見聴取
			れんけい小間 売上高	—	800万円	800万円 ※予定	3 れんけいこうち日曜市出店事業の推進 ・来客数増加に向けた「れんけいこうち日曜市出店事業」の持続・発展 ・新たなイベントの検討 ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品のPR	3 れんけいこうち日曜市出店事業の推進 ・来客数増加に向けた酒類販売の規制緩和について検討開始 ・出店者の発案によるイベントの実施支援 ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品のPRの実施	760.1万円 (R6.4月～11月) ・R6到達目標達成率：142.5% ・対前年同期比：65.7%		S	3 れんけいこうち日曜市出店事業の推進 ・来客数増加に向けた「れんけいこうち日曜市出店事業」の持続・発展 ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品のPR ・出店基準の緩和(酒類販売の解禁)

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】							【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	11	地域資源の磨き上げと創出による観光振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・(公社)高知市観光協会 ・(特非)土佐観光ガイドボランティア協会 ・桂浜公園指定管理者 ・五台山公園整備事業者 ・その他関係団体等 自然や歴史、文化等、高知市が誇る数多くの観光資源の磨き上げや連携等により新たな魅力の創出を図る。また、高知の強みを活かした新たな観光資源の発掘に取り組み、高知県内の周遊拠点都市の役割を担うことによって、県内での周遊や消費を促し、さらなる観光振興を図る。	高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数 暦年	104万人泊 (R4)	124万人泊	127万人泊	1 周遊促進と新たな需要の開拓 ・デジタルを活用したプロモーションの実施 ・こうち観光ナビ・ツーリストセンターの運営継続 ・路面電車やレンタサイクルを活用したテーマ別観光周遊コースの造成 ・関係者の連携による既存観光地(桂浜や五台山等)の魅力の磨き上げ ・各種イベント推進会議への支援 ・若者世代の参加を促す広報等 ・インバウンド観光客受入体制の整備	1 周遊促進と新たな需要の開拓 ・こうち観光ナビ・ツーリストセンターの運営(通年) ・高知トラベルコンパスのリリース・運用(R6.4月～、通年) →登録スポット数：689件、周遊コース造成数：12件、多言語対応数：11言語、Instagramキャンペーンの実施、エリア特集の掲載：4エリア ・観光周遊コースの造成(高知トラベルコンパス内、通年) ・五台山公園の磨き上げに係る整備事業者と高知県観光コンベンション協会との協議(7/16) ・特捜戦隊デカレンジャーコラボキャンペーンの実施 →先行上映会の実施(5/29)、大型バナーフラッグの掲出(5月～7月)、ロケ地周遊デジタルスタンプラリー(6月～8月)、ラッピング路面電車の運行(6月～8月)、Instagramキャンペーン(6月～8月) ・Instagramでの情報発信(通年)	－ (R7.4月以降に集計・公表)	－	(成果) ・こうち観光ナビ・ツーリストセンターの利用者数が開所以来最高を更新した。 こうち観光ナビ・ツーリストセンター利用者数(実相談者数)：10,844人(R6.4月～10月) ・「高知市×デカレンジャー」プロモーションの実施：スタンプラリー参加者数：2,287人 ・ハッシュタグキャンペーンにおける「＃デカレン高知」を使った投稿数：840投稿(R6.6.1～R6.8.31) ・ハッシュタグキャンペーンにおける「＃高知トラベルコンパス」を使った投稿数：1,423投稿(R6.11.25現在) ・Instagramフォロワー数：11,290(R6.11.1現在) (課題) ・高知トラベルコンパスの認知度向上 ・新たな観光コンテンツの創出 ・インバウンド観光客に対する受入体制の構築 (今後の方向性) ・デジタルを活用した圏域での効果的なプロモーションによる即時性や自由度の高い広域観光の推進 ・特捜戦隊デカレンジャーのようなこれまでのターゲットに含まれていない層に対するのアプローチの検討 ・連続テレビ小説「あんぱん」の放映に向けたキャンペーンの開催準備 ・活用可能な補助金の利用によるインバウンド観光客の受入体制の充実に向けた取り組みの検討	1 周遊促進と新たな需要の開拓 ・こうち観光ナビツーリストセンターの運営 ・高知トラベルコンパスでのデジタルプロモーションの実施
			県外観光客消費額 暦年	724億円 (R4)	982億円	1,027億円	2 歴史や文化を活かした観光振興 ・土佐観光ガイドボランティア協会等関係団体との連携強化 ・龍馬関連都市との連携による観光PR ・龍馬関連事業(龍馬World、龍馬の言葉プロジェクト等)の実施 ・フォーカスされていない偉人に関する新たなコンテンツの創造 ・ニーズに応じたガイドの実施等による「土佐っ歩」のコース充実 ・龍馬関連事業の実施継続及び龍馬周年イベントの開催	2 歴史や文化を活かした観光振興 ・「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の実施等(通年) ・桂浜散策コースの実施(通年) ・やなせたかし氏にフォーカスした連続テレビ小説「あんぱん」の取り組み準備(通年(R7年度事業開始)) ・龍馬生誕190周年に向けた取り組み準備(通年(R7年度事業開始))			2 歴史や文化を活かした観光振興 ・連続テレビ小説を活用したプロモーションの実施 ・龍馬生誕190周年事業の実施 ・「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」コースの充実	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】							【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	12	よさこい発祥の地としてのブランド力確立と文化の継承・発展 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・◎よさこい祭振興会 ・◎(公社)高知市観光協会 ・そのほか関係団体等 年間を通じてよさこいの魅力を向上させることにより観光客の誘致を図るとともに、「よさこい」発祥の地としての地位の確立・ブランド化に取り組む。	よさこい祭り 来場者数	107万人 (R5)	120万人	120万人	1 よさこい祭りの運営体制の充実 ・よさこい祭り及びよさこい全国大会の充実 ・土佐学生よさこい大会の開催支援 ・持続可能な祭りの開催に向けた関係者協議の実施 2 県外のよさこいでの観光PRの強化 ・「よさこい発祥の地・高知市」のPR(通年) ・原宿表参道元氣祭スーパーよさこいへの協賛による観光PR ・県外のよさこい関連イベントにおける観光PR	1 よさこい祭りの運営体制の充実 ・状況に応じた関係者協議の実施 ・土佐学生よさこい大会実行委員会への支援 ・窪之内英策氏デザインの「よさこい発祥の地・高知市」を象徴するイメージイラストを活用したうちの配布(8/9～8/12、約2,000枚) 2 県外のよさこいでの観光PRの強化 ・県外イベント等における窪之内英策氏デザインの「よさこい発祥の地・高知市」を象徴するイメージイラストを活用したPRの実施(通年) ・原宿表参道元氣祭スーパーよさこいへの広告協賛 ・原宿表参道元氣祭スーパーよさこいをきっかけとした渋谷区との観光・文化交流協定の締結(8/23) ・よさこいを通じた他地域との交流の実施(斐川、原宿、佐世保ほか)	87万人 ・R6到達目標達成率：72.5% ・対前年比：81.3%	C	(成果) ・市内17会場において184チーム、約17,000人の踊り子が参加し、演舞を披露した結果、観光客の誘致につながった(R5：157チーム、約14,000人)。 ・県市から延べ40人の職員を派遣し、競演場の運営を支援した結果、競演場・演舞場での人材不足に対応することができた。 ・高知よさこい情報交流館でのよさこい踊り体験等への積極的な誘導により、体験者数の増加につながった。 鳴子づくり体験者数：765人(R6.1月～10月) よさこい踊り体験者数：8,934人(R6.1月～10月) よさこい踊り体験者数(よさこい期間中)：1,596人(8/9～8/12) (対前年同期比：430.2%) (課題) ・自然環境や社会情勢を加味した持続可能なよさこい祭りのあり方 ・競演場・演舞場の運営における人材育成やコストの圧縮 ・県外において認知が薄れつつある「よさこい発祥の地・高知市」の認知度向上 ・高知よさこい情報交流館の魅力向上	1 よさこい祭りの運営体制の充実 ・持続可能な祭りの開催に向けた関係者協議の実施 2 県外のよさこいでの観光PRの強化 ・「よさこい発祥の地・高知市」のPR ・原宿表参道元氣祭スーパーよさこいへの協賛による観光PR ・県外のよさこい関連イベントにおける観光PR
			高知よさこい 情報交流館 入館者数 暦年	29,595人 (R4)	60,000人	60,000人	3 高知よさこい情報交流館の充実 ・各展示・体験スペースの積極的な活用 ・魅力向上につながるコンテンツ強化 ・インバウンド観光の集客強化 ・イベント開催時等の効果的な情報発信	3 高知よさこい情報交流館の充実 ・企画展等の実施：4回 ・春よさこい2024の実施(4/27) ・館内コンテンツの多言語対応(4 か国語) ・大型客船寄港時やよさこい祭り期間の臨時開館・開館時間の延長を実施(4/3、4/24、5/1、8/9～8/12) ・インターン生による高知よさこい情報交流館来館者に対する積極的な踊り体験等への誘導(8/9～8/12) ・高知よさこい情報交流館の今後のあり方に係る検討チームの立ち上げ ・よさこいリターンズの実施 (10/5、11/2、12/7)	46,389人 (R6.1月～12月) ・R6到達目標達成率：77.3% ・対前年比：112.4%		C	(今後の方向性) ・よさこい祭振興会を中心とした運営等のあり方の検討 ・イベント等を通じた「よさこい発祥の地・高知市」のPR ・よさこい外交の推進 ・検討チームにおける「高知よさこい情報交流館」の魅力向上策の検討

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

進捗状況の基準	
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
－	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】								【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
分野	No.	項目名・実施主体	指標	出発点	R6 到達目標	R9 目標	R6計画	R6取り組み状況	現時点の進捗状況			R7計画
									R6到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
観光	13	桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・◎(株)はりま家 ・民間事業者 県内最大の観光施設である桂浜公園を、自然景観と歴史資源を生かした学びや憩い、楽しみが溢れる公園として整備し、国内外からの観光入込客数の増加を図る。 また、桂浜公園の魅力アップによる集客効果にあわせて観光案内機能を強化することにより、県内各地への周遊を促進する。	桂浜公園 来園者数 暦年	580,995人 (R4)	820,000人	870,000人	1 桂浜公園整備 ・イベント実施による賑わい創出及びナイトタイムエコノミーの推進 ・大型連休やイベント開催時等の道路渋滞対策の検討及び実施 ・基本計画に基づいた施設整備の推進 ・観光情報の充実化 ・市内にある観光施設とのタイアップ ・民間活力の導入による国民宿舎桂浜荘の新たな利活用の検討 2 船着き場整備 ・「No.14 遊覧船による浦戸湾の観光振興」の取り組みの推進	1 桂浜公園整備 ・イベント「桂浜潮騒フェスティバル〜土佐文化の継承と振興〜」(4/6〜4/7)、「春の風フェスタ」(4/6〜5/26)、「夏の潮フェスタ」(7/27〜8/31)、「桂浜観月の宵」・「桂浜グルメストリート」(9/14〜9/23)の実施、HAMAYOSA桂浜よさこいの日(9/28、11/16)の実施、桂浜海のハロウィン(10/25〜10/26)の実施 ・坂本龍馬像生誕祭の実施(5/25〜5/26) ・龍馬に大接近の実施(4/6〜6/2、9/21〜11/24) ・第51回龍馬まつりの実施(11/17) ・大型連休等の桂浜周辺の道路渋滞緩和を旨とした無料シャトルバスの運営及び臨時駐車場の設置(4/28、5/3〜5/5) ・商業エリア及び本浜休憩所における飲食店、土産物店の設置(通年) ・Park-PFIによる国民宿舎桂浜荘の整備・管理運営事業者の公募に向けたマーケットサウンディングの実施(7/30〜8/8) 2 船着き場整備 ・津波防波堤整備の実施(四国地方整備局)	653,604人 (R6.1月〜12月) ・R6到達目標達成率：79.7% ・対前年比：86.4%	C	(成果) ・定期的なイベントの実施により、来園者数の確保につながった。 ・GW期間中の桂浜周辺の渋滞対策を実施したことで、渋滞が緩和された。 (課題) ・渋滞対策における人件費やバスの賃借料等の高騰 ・公園全体の回遊性の向上や新たな賑わいづくり ・公園を起点とした市内観光スポットへの周遊促進 ・国民宿舎桂浜荘の利活用 (今後の方向性) ・桂浜公園の駐車場の台数制限や狭隘な周辺道路による旅行者や周辺住民への影響緩和に向けた大型連休等における渋滞対策の継続実施 ・来園者数の増加に向けたイベントの実施やナイトタイムエコノミーの推進による回遊性の向上や新たな賑わいづくり ・市内にある観光施設とのタイアップや観光情報の充実化等による周遊拠点としての機能強化及び県内各地への周遊促進 ・Park-PFIを活用した国民宿舎桂浜荘の運営再開による公園全体の魅力向上(運営事業者の公募選定等)	1 桂浜公園整備 ・大型連休やイベント開催時等の道路渋滞対策の検討及び実施 ・イベント実施による賑わい創出及びナイトタイムエコノミーの推進 ・基本計画に基づいた施設整備の推進 ・観光情報の充実化 ・市内にある観光施設とのタイアップ ・民間活力の導入による国民宿舎桂浜荘の利活用(R6年度中に事業者選定後、R7年度から事業者による整備開始) 2 船着き場整備 ・津波防波堤整備の実施(四国地方整備局)
	14	遊覧船による浦戸湾の観光振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎(株)土佐レジン 浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組み等により県内外からの観光客の誘客を図る。	観光遊覧船 の乗船客数	1,266人 (R4)	未定	2,000人	1 遊覧コースの拡充による魅力向上 ・既存遊覧コースの改良及び新たな遊覧コースの検討(桂浜コース、サンセットクルーズ等) ・各種イベントの実施 2 県内外へのPR活動 ・HPやSNS、観光情報誌への掲載等による情報発信 ・イベント参加による遊覧船の認知度向上	1 遊覧コースの拡充による魅力向上 ・お花見遊覧の実施(3月〜4月) ・現浮桟橋の県の使用許可の動向に伴う事業継続に向けた協議(4/9、4/16、9/27、10/4、10/16、11/25、12/9) ・現浮桟橋の処分方針が決定(6/11) 2 県内外へのPR活動 ・メディアやSNSでのPR実施(通年) ・福祉施設児童を対象とした無料招待イベントの実施(7月)	919人 (R6.4月〜11月) ・R6到達目標達成率：-% ・対前年同期比：87.2%	－	(成果) ・現浮桟橋の処分方針の決定を踏まえ、遊覧コース及び乗降地の拡充に向けた企画立案を行った。 (課題) ・現浮桟橋の処分結果が不確定な状況での事業継続 ・乗降地の拡充 (今後の方向性) ・現浮桟橋所管課の処分手続きに対応した事業者との調整 ・乗降地の拡充に向けた地元・利害関係者との調整	1 遊覧コースの拡充による魅力向上 ・遊覧コース及び乗降地の拡充に対応した受入体制の充実 ・料金体系等メニューの見直し 2 県内外へのPR活動 ・当面の間(R7.5.30まで)の事業継続の周知 ・HPやSNS、観光情報誌への掲載等による情報発信 ・イベント参加による遊覧船の認知度向上